

学 則
(新)

大阪行岡医療専門学校長柄校

学 則 貝

第 1 章 組 織

第 1 条 本校は教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、臨床検査学、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧術、柔道整復に関する理論と実地技能を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。

第 2 条 本校は「大阪行岡医療専門学校長柄校」という。

第 3 条 本校は「大阪市北区長柄西 1 丁目 7 番 5 3 号」に設置する。

第 2 章 課程、学科、修業年限、定員 学期及び休校日

第 4 条 本校の課程、学科、修業年限及び定員は次のとおりとする。

課程別	学科別	昼夜別	修業年限	入学定員	学級数	総定員
医療専門課程	放射線科	昼間	3年	50名	1学級	150名
医療専門課程	臨床検査科	昼間	3年	40名	1学級	120名
医療専門課程	鍼灸科	昼間	3年	50名	2学級	150名
医療専門課程	整復科	昼間	3年	30名	1学級	90名

※整復科については、2020年度入学生から募集を停止する。

第 5 条 本校の在学期間は6年を限度とする。

第 6 条 本校の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2. 本校の学期は次の2期とする。

前 期 4月1日より9月30日まで

後 期 10月1日より翌年3月31日まで

第 7 条 本校の休校日は次のとおりとする。

(1) 日 曜 日

(2) 国民の祝日に関する法律で規定する休日。

- (3) 夏期休暇 8月1日より8月31日まで。
- (4) 冬期休暇 12月21日より翌年1月10日まで。
- (5) 春期休暇 3月21日より4月10日まで。
- (6) 創立記念日 2月18日

2. 校長が必要と認めるときは、前項の休校日を変更し、又は、臨時に休校日を定めることができる。但し、実習期間等の事由により前項の休暇期間を変更する場合がある。

第 3 章 教育課程及び授業時間数

第 8 条 本校の授業時間数及び期間は、定期試験などを含め年間800時間以上とし、授業期間は年間35週を越えるものとする。教育課程は「別表1」のとおりとする。

第 9 条 本校の始業及び終業の時刻は9時20分より16時40分までとする。

- (1) 整復科は13時30分より16時40分までとする。
- (2) 実習時間等については別に定める。

第 4 章 教 職 員

第 10 条 本校に次の教職員を置く。但し、教務主任、専任教員のほかは、学校法人行岡保健衛生学園の職員がこれを兼務する。

- (1) 校 長……………1 名
- (2) 副 校 長……………2 名
- (3) 教 務 部 課 長……………3 名
- (4) 教 務 主 任……………各科に1名
- (5) 専 任 教 員……………21 名以上
- (6) 非 常 勤 職 員……………各科に相当数
- (7) 事 務 長……………1 名
- (8) 学 生 事 務 課 長……………1 名
- (9) 総 務 課 長……………1 名
- (10) 経 理 課 長……………1 名
- (11) 事 務 課 長……………1 名
- (12) 事 務 職 員……………4 名
- (13) 学 校 医……………1 名
- (14) その他必要な職員……………若 干 名

2. 専任教員は、教務主任を含めて次のとおりに置く。

- 放 射 線 科 6 名以上
- 臨 床 検 査 科 6 名以上
- 鍼 灸 科 7 名以上
- 整 復 科 6 名以上

第 5 章 入 学

第 1 1 条 本校に入学できる者は学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者とする。

第 1 2 条 本校の入学時期は学年の始めとする。

第 1 3 条 本校の入学手続きは次のとおりとする。

- (1) 本校の定める入学願書に必要事項を記載して第 2 7 条に定める入学検定料を添えて指定期日までに出席しなければならぬ。
- (2) 前項の手続きを終了した者に対して、学力検査、出身学校長の調査書及び面接により入学者を決定する。
- (3) 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から指定された日までに第 2 7 条の入学金・授業料、実験実習料及び施設整備費の第 1 期分を添え、手続きをとらなければならぬ。

第 6 章 転入学、欠席、休学及び退学

第 1 4 条 学校長は、定員に欠員が生じている限り、転入学を希望し、転入学願を提出した者があるときは、選考の上許可することがある。

2. 転入学の時期は、原則毎学年度の始めとする。

第 1 5 条 学生が疾病その他やむを得ない事由により欠席する場合、又は欠席した場合は、欠席届を校長に提出しなければならない。

疾病により 1 週間以上欠席する場合は、欠席届に診断書を添えて提出しなければならない。

2. 学生が、疾病その他やむを得ない事由により 3 ヶ月以上欠席する場合は、休学願を校長に提出し、許可を受けなければならない。

但し、休学期間は、通算して 1 年を越えることはできない。

その事由が疾病による場合は、休学願に診断書を添えて提出しなければならない。

3. 前項の者が復学する場合は、復学願を提出し許可を受けなければならない。

第 1 6 条 校長は、疾病等の事由により必要があると認められた学生に休学を命ずることがある。

休学の事由がなくなったときは、相当学年に復学させることができる。

第 1 7 条 第 1 9 条の規定に該当する者には、退学を命ずることがある。

2. 自己の都合により退学しようとする者は、理由を記した書類を添えて校長に願ひ出て許可を受けなければならない。

第 7 章 賞 罰

第 18 条 学生の本分をつくし、品行方正、学力に優れた者で他の学生の模範となる者には、褒章されることがある。

第 19 条 校長は、次の各号の一に該当する者には、注意、勧告、停学又は退学を命ずることがある。

(1) 第 5 条に規定する在学期間を越えた者。

(2) 学力不良で、向上の期待ができない者。

(3) 本校の規則に違反した者。

(4) 品行不良で、改善の期待ができない者。

第 8 章 学 習 評 価

第 20 条 校長は、試験に合格した者に対して単位を認定し評価をする。

2. 試験は、筆記、論文、口述、実技、学習報告書などによって行う。

3. 大学、高等専門学校、文部科学大臣又は厚生労働大臣の指定を受けた養成施設などに在学していた者の既修得単位について、教育上有益として認めるときは校長が認定することができる。

第 21 条 前条の試験を受けることができる者は次のとおりとする。

各科目の出席が授業時間数の 4 分の 3 に満ちている者とする。

但し、各科においては次のとおりとする。

放射線科の臨床実習、臨床検査科の臨地実習においては 10 分の 9 に満ちている者、鍼灸科の実習は 5 分の 4 以上、臨床実習の出席については全て出席している者、整復科の臨床実習においては全て出席している者。

第 22 条 試験の評価は各科目毎に 100 点を満点とし、各科目 60 点以上を及第点とする。

第 23 条 疾病等やむを得ない事由で欠席した場合、又は、所定の試験において規定の点数に満たなかった者には、追試験又は再試験を行う場合がある。

該当者は、追・再試験願に所定の試験料を添えて願いでること。

第 24 条 第 4 条に規定する期間以上在籍し、第 8 条に定める所定の授業科目を履修し、卒業要件「別表 2」を満たす単位を修得した者には卒業が認められる。卒業が認められた者には卒業証書(様式 1)が授与される。

第 25 条 前条により医療専門課程放射線科、臨床検査科、鍼灸科、整復科を修了した者には、専門士（医療専門課程）の称号（様式 1）を授与する。

第 26 条 第 21 条に該当しない場合であっても、補講等の方法によって必要な出席時間数が得られれば試験を行う場合がある。

第 9 章 入学検定料、入学金、授業料、実験実習料及び施設整備費

第 27 条 本校の入学検定料、入学金、授業料、実験実習料及び施設整備費は、「別表 3」のとおりとする。

2. 校長は、正当な理由の届出をしないで、授業料、実験実習料及び施設整備費を納入しない者には、注意・勧告・停学又は退学を命ずることができる。

第 28 条 一度納入した入学検定料、入学金、授業料、実験実習料及び施設整備費は、如何なる理由があっても返納しない。

第 10 章 健康 管 理

第 29 条 本校の学生の健康診断は、毎年 1 回以上実施する。

第 11 章 雑 則

第 30 条 本学則施行に関し必要な細則は別に定める。

附則

本学則は昭和 63 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成元年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 2 年 4 月 1 日より施行する。

ただし、平成元年度以前の入学者については、従前の例による。

この改正は平成 5 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 7 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 9 年 7 月 1 日より施行する。

この改正は平成 12 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 13 年 1 月 8 日より施行する。

この改正は平成 13 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 15 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 16 年 1 月 1 日より施行する。

この改正は平成 16 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 18 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 19 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 20 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 21 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 23 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 25 年 9 月 1 日より施行する。

(近畿医療技術専門学校、行岡鍼灸専門学校、行岡整復専門学校の学校統合による校名変更)

この改正は平成 26 年 1 月 28 日より施行する。但し、鍼灸科(昼間部・夜間部)及び整復科(昼間部)の教育課程の変更に関しては、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 27 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 28 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

この改正は平成 30 年 4 月 1 日より施行する。


この改正は平成 31 年 4 月 1 日より施行する。

(但し、第 21 条については、平成 30 年度以前の入学生は従前の例による。)


この改正は令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

様式1

放射線科

	
第 号	<h1>卒業証書</h1>
年 月 日	診療放射線技師学校養成所 指定規則による本校放射線科 (修業年限三年)の全課程を修めたので 卒業証書を授与し文部科学大臣 告示により専門士(医療専門課程)と 称することを認める
令和 年 月 日	大阪行岡医療専門学校校長柄校 学校長 ○○○○

臨床検査科

	
第 号	<h1>卒業証書</h1>
年 月 日	臨床検査技師学校養成所指定 規則による本校臨床検査科 (修業年限三年)の全課程を修めたので 卒業証書を授与し文部科学大臣 告示により専門士(医療専門課程)と 称することを認める
令和 年 月 日	大阪行岡医療専門学校校長柄校 学校長 ○○○○



第 号

卒業証書

年 月 日生

あん摩マッサージ指圧師はり師
きゆう師学校養成施設認定
規則による鍼灸科(修業年限三年)の
全課程を修めたので卒業証書を
授与し文部科学大臣告示により専門士
(医療専門課程)と称することを認める

令和 年 月 日

大阪行岡医療専門学校長柄校

学校長 ○ ○ ○ ○



第 号

卒業証書

年 月 日生

柔道整復師学校養成施設
指定規則による整復科(修業
年限三年)の全課程を修めた
ので卒業証書を授与し文部
科学大臣告示により専門士
(医療専門課程)と称することを認める

令和 年 月 日

大阪行岡医療専門学校長柄校

学校長 ○ ○ ○ ○

2 . 学 則

(別 表)

別 表 1

学則第8条による本校の教育課程は次のとおりとする。

- (1) 放 射 線 科
- (2) 臨 床 検 査 科
- (3) 鍼 灸 科
- (4) 整 復 科

学科目と単位(時間数)の基準

放射線科

教育課程

別表1

教育内容	法定単位	教育科目	単位	時間	1年	2年	3年	
基礎分野	14	科学的思考の基盤	2	30	2(30)			
		人間と生活	人文科学：人間科学	1	15	1(15)		
			：生活学	1	15	1(15)		
			社会科学：社会福祉学	2	30	2(30)		
			：経営学	2	60	2(60)		
			自然科学：数学	1	30	1(30)		
			：基礎物理学	2	60	2(60)		
			：物理学	1	45	1(45)		
			：化学	1	30	1(30)		
			：生物学(人間中心とし演習を含む)	1	30	1(30)		
			外国語：英語	2	60	2(60)		
			：医学英語	1	30	1(30)		
			：ドイツ語	1	30	1(30)		
			保健体育：保健体育	1	15	1(15)		
：保健体育実技	1	45	1(45)					
小計	14		20	525	19(480)	1(45)	0(0)	
専門基礎分野	13	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2	60	2(60)			
		解剖学	1	30	1(30)			
		生理学	1	30		1(30)		
		薬理学	1	30				
		病理学	1	30	1(30)			
		公衆衛生学	1	15	1(15)			
		医学概論	2	30	2(30)			
		臨床医学概論	2	30		2(30)		
		微生物学	1	15	1(15)			
		基礎医学大要	2	30		2(30)		
		保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	医用物理学	1	30		1(30)	
			応用数学	1	30	1(30)		
			電磁気学	2	60	2(60)		
	電子工学		2	60	2(60)			
電気・電子工学実験	1		45		1(45)			
情報科学Ⅰ	1		30		1(30)			
情報科学Ⅱ	1		45		1(45)			
情報科学実験	1		45		1(45)			
放射線物理学Ⅰ	2		60	2(60)				
放射線物理学Ⅱ	1		30	1(30)				
放射化学	2	60	2(60)					
放射線生物学	2	60	2(60)					
放射線計測学	2	60		2(60)				
放射線計測学実験Ⅰ	1	45		1(45)				
放射線計測学実験Ⅱ	1	45		1(45)				
小計	31		34	975	20(540)	14(435)	0(0)	
専門分野	17	診療画像技術学	1	30	1(30)			
		画像解剖学	1	30		1(30)		
		救急救命対応検査学	1	30			1(30)	
		画像検査概論	2	30		2(30)		
		画像機器工学Ⅰ(X線)	2	60	2(60)			
		画像機器工学Ⅱ(US)	1	30		1(30)		
		画像機器工学Ⅲ(軟線)	1	15			1(15)	
		画像検査学Ⅰ(一般)	2	60		2(60)		
		画像検査学Ⅱ(造影)	1	30		1(30)		
		画像検査学Ⅲ(特殊)	1	30		1(30)		
		画像検査学Ⅳ(CT)	1	30		1(30)		
		画像検査学Ⅴ(MRI)	1	30		1(30)		
		医療機器工学実験Ⅰ	1	45		1(45)		
		医療機器工学実験Ⅱ(電離箱・眼底・その他)	1	45		1(45)		
	核医学検査技術学	核医学検査学概論	2	30		2(30)		
		核医学機器工学	2	60		2(60)		
		核医学検査技術学Ⅰ	1	30		1(30)		
	放射線治療技術学	核医学検査技術学Ⅱ	1	30		1(30)		
		放射線腫瘍学	1	30		1(30)		
		放射線治療学総論	1	30		1(30)		
医用画像情報学	放射線治療機器工学	2	60		2(60)			
	放射線治療技術学	2	60		2(60)			
	放射線写真学	2	30		2(30)			
放射線安全管理学	画像工学	2	60			2(60)		
	医用画像情報学	1	30			1(30)		
	画像情報学実験	1	45		1(45)			
	関係法規	1	30			1(30)		
医療安全管理学	放射線防護学	1	30		1(30)			
	放射線衛生学	1	15		1(15)			
	放射線管理学	1	30		1(30)			
	放射線管理学実験	1	45			1(45)		
臨床実習	10					1(30)		
小計	臨床実習Ⅰ(学内)	2	90			2(90)		
	臨床実習Ⅱ(病院施設)	8	360			8(360)		
	総合演習	6	180			6(180)		
小計	50		57	1,800	3(90)	30(825)	24(885)	
総計	95		111	3,300	42(1,110)	45(1,305)	24(885)	

()は時間数

学科目と単位(時間数)の基準

臨床検査科

教育課程

別表1

教育内容	法定単位	教育科目	単位	時間	1年	2年	3年
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	人文科学 : 心理学	1	15	1 (15)		
		: 医療倫理学	1	15	1 (15)		
		社会科学 : 社会学	1	15	1 (15)		
		: 法学	1	15	1 (15)		
		自然科学 : 数学	1	15	1 (15)		
		: 物理学	1	15	1 (15)		
		: 有機化学	2	45	2 (45)		
		: 一般化学	2	45	2 (45)		
		: 生物学	2	30	2 (30)		
		外国語 : 英語	2	60	2 (60)		
		: 医学英語	1	30		1 (30)	
		: ドイツ語	1	30	1 (30)		
		保健体育 : 健康管理学 実習	1	45	1 (45)		
	小計	14		17	375	16 (345)	1 (30)
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	2	45	2 (45)		
		解剖学Ⅱ	1	30	1 (30)		
		生理学	2	60	2 (60)		
		生化学	2	60	2 (60)		
	医学検査の基礎とその疾病との関連	生化学 実習	1	45	1 (45)		
		病理学	1	30		1 (30)	
		微生物学	1	30	1 (30)		
		血液学	1	30	1 (30)		
		免疫学	1	30	1 (30)		
	保健医療福祉と医学検査	薬理学	1	30			1 (30)
		公衆衛生学	2	45	2 (45)		
		公衆衛生学 実習	1	30		1 (30)	
	医療工学及び情報科学	医療福祉総論	1	15			1 (15)
		医用工学	2	60		2 (60)	
情報科学		1	30	1 (30)			
小計	21		21	615	15 (450)	4 (120)	2 (45)
専門分野	臨床病態学	臨床医学総論	2	45		2 (45)	
		臨床医学各論	2	45		2 (45)	
		臨床診断学	2	60		(20)	2 (40)
	形態検査学	病理検査学	2	45	2 (45)		
		病理検査学 実習Ⅰ	1	30	1 (30)		
		病理検査学 実習Ⅱ	1	45		1 (45)	
		細胞診	1	15			1 (15)
		血液検査学	2	30	2 (30)		
		血液検査学 実習	1	45		1 (45)	
		染色体検査学 演習	1	30		1 (30)	
		寄生虫検査学	1	30	1 (30)		
	生物化学分析検査学	臨床化学	2	60		2 (60)	
		臨床化学 実習Ⅰ	1	30		1 (30)	
		臨床化学 実習Ⅱ	1	45		1 (45)	
放射性同位元素検査学		1	15		1 (15)		
止血凝固検査学		1	15			1 (15)	
止血凝固検査学 演習		1	30		1 (30)		
臨床基礎検査学		2	30	2 (30)			
臨床基礎検査学 実習		1	45		1 (45)		
病因・生体防御検査学	自働分析学	1	15			1 (15)	
	微生物検査学	2	45	2 (45)			
	微生物検査学 実習Ⅰ	1	30		1 (30)		
	微生物検査学 実習Ⅱ	1	45		1 (45)		
	免疫検査学	2	45		2 (45)		
	免疫検査学 実習	1	45		1 (45)		
	輸血・移植検査学	1	30		1 (30)		
	輸血・移植検査学 演習	1	30		1 (30)		
生理機能検査学	遺伝子検査学	1	30		1 (30)		
	生理機能検査学Ⅰ	2	30	2 (30)			
	生理機能検査学Ⅰ 実習	1	45		1 (45)		
	生理機能検査学Ⅱ	2	60		2 (60)		
	生理機能検査学Ⅱ 実習	1	45		1 (45)		
	生理機能検査学Ⅲ	1	15			1 (15)	
	生理機能検査学Ⅳ	※ 1	※ 15			※ 1 (15)	
	画像診断学	1	15			1 (15)	
検査総合管理学	画像診断学 演習	1	30		1 (30)		
	検査精度管理学	2	30		2 (30)		
	医療情報処理	1	15			1 (15)	
	検査機器学	2	30	2 (30)			
	緊急検査学	1	15		1 (15)		
	検体処理技術	1	15			1 (15)	
医療安全管理学	1	15	1 (15)				
臨地実習	検体採取技術	1	15	1 (15)			
	臨地実習	7	450			# (450)	
	臨床検査特論 演習	6	180			6 (180)	
小計	60		71	2010	15 (285)	30 (935)	26 (790)
総計	95		109	3000	46 (1,080)	35 (1,085)	28 (835)

※は選択科目 ()は時間数

学科目と単位(時間数)の基準

※平成29年度以前入学者対象

鍼灸科

別表1

	教育内容	授業科目	指定規則 単位数	1学年		2学年		3学年		計			
				単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数		
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	心理学Ⅰ	14	2	30					2	30		
		心理学Ⅱ		2	30					2	30		
		社会学Ⅰ		2	30					2	30		
		社会学Ⅱ		2	30					2	30		
		生化学				2	30				2	30	
		保健体育		2	30						2	30	
		外国語Ⅰ		1	30						1	30	
		外国語Ⅱ		1	30						1	30	
小計			14	12	210	2	30		14	240			
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	13	1	30					1	30		
		解剖学Ⅱ		1	30					1	30		
		解剖学Ⅲ		1	30					1	30		
		解剖学Ⅳ		1	30					1	30		
		解剖学Ⅴ		1	30					1	30		
		解剖学Ⅵ		1	30					1	30		
		解剖学Ⅶ						1	30		1	30	
		生理学Ⅰ		1	30						1	30	
		生理学Ⅱ		1	30						1	30	
		生理学Ⅲ				1	30				1	30	
		生理学Ⅳ				1	30				1	30	
		生理学Ⅴ							1	30		1	30
		運動学						1	30			1	30
	疾病の成り立ちと その予防及び 回復の促進	病理学概論Ⅰ	12				1	30			1	30	
		病理学概論Ⅱ				1	30			1	30		
		臨床医学各論Ⅰ				1	30				1	30	
		臨床医学各論Ⅱ				1	30				1	30	
		臨床医学各論Ⅲ							1	30		1	30
		臨床医学各論Ⅳ							1	30		1	30
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ							1	30		1	30
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ							1	30		1	30
		臨床医学総論Ⅰ				1	30					1	30
		臨床医学総論Ⅱ				1	30					1	30
		基礎臨床論				1	30					1	30
	リハビリテーション医学Ⅰ			1	30					1	30		
	リハビリテーション医学Ⅱ			1	30					1	30		
	保健医療福祉と はり、きゆうの概念	医療概論	2		1	30					1	30	
		関係法規							1	30		1	30
	小計			27	9	270	12	360	7	210	28	840	
	専門分野	基礎あん摩マッサージ指圧学 基礎はり学 基礎きゆう学	あん摩マッサージ指圧理論Ⅰ	8	2	30					2	30	
			はりきゆう理論Ⅰ		2	30					2	30	
			東洋医学概論Ⅰ		2	30						2	30
経絡経穴概論			4		60						4	60	
臨床あん摩マッサージ指圧学 臨床はり学 臨床きゆう学		あん摩マッサージ指圧理論Ⅱ	12						2	30	2	30	
		はりきゆう理論Ⅱ						2	30		2	30	
		東洋医学概論Ⅱ				4	60				4	60	
		東洋医学臨床論Ⅰ				4	60				4	60	
あん摩マッサージ指圧社会学 はり社会学 きゆう社会学		あはき社会学	2						2	30	2	30	
		実習(臨床実習及び 臨地実習を含む)			20	3	90					3	90
あん摩マッサージ指圧実技Ⅰ						4	120				4	120	
あん摩マッサージ指圧実技Ⅱ									4	120		4	120
あん摩マッサージ指圧実技Ⅲ										4	120	4	120
はりきゆう実技Ⅰ				4		120					4	120	
はりきゆう実技Ⅱ							4	120				4	120
総合領域		はりきゆう実技Ⅲ							4	120		4	120
		臨床実習							2	90		2	90
		経絡治療学Ⅰ	10				2	30			2	30	
経絡治療学Ⅱ								4	60		4	60	
実践臨床論						4	60				4	60	
総合演習		総合演習A	-		1	30						1	30
		総合演習B					1	30				1	30
		総合演習C							4	120		4	120
小計			52	18	390	23	480	28	660	69	1530		
合計			93	39	870	37	870	35	870	111	2610		

学科目と単位(時間数)の基準

※平成30年度以降入学者対象

鍼灸科

別表1

	教育内容	授業科目	指定単位数	1学年		2学年		3学年		計		
				単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	心理学Ⅰ	14	2	30					2	30	
		心理学Ⅱ ※1		2	30					2	30	
		社会学Ⅰ		2	30					2	30	
		社会学Ⅱ		2	30					2	30	
		生化学		2	30					2	30	
		保健体育		2	30					2	30	
		外国語Ⅰ		1	30					1	30	
		外国語Ⅱ		1	30					1	30	
		小計			14	14	240					14
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	12	1	30					1	30	
		解剖学Ⅱ		1	30					1	30	
		解剖学Ⅲ		1	30					1	30	
		解剖学Ⅳ		1	30					1	30	
		解剖学Ⅴ		1	30					1	30	
		解剖学Ⅵ		1	30					1	30	
		生理学Ⅰ		1	30					1	30	
		生理学Ⅱ		1	30					1	30	
		生理学Ⅲ		1	30					1	30	
		生理学Ⅳ		1	30					1	30	
		解剖生理学							1	30	1	30
		運動学						1	30			1
専門基礎分野	疾病の成り立ちと その予防及び 回復の促進	病理学概論Ⅰ	12			1	30			1	30	
		病理学概論Ⅱ		1	30					1	30	
		臨床医学総論Ⅰ		1	30					1	30	
		臨床医学総論Ⅱ		1	30					1	30	
		臨床医学総論Ⅲ		1	15					1	15	
		臨床医学各論Ⅰ		1	30					1	30	
		臨床医学各論Ⅱ		1	30					1	30	
		臨床医学各論Ⅲ		1	30					1	30	
		臨床医学各論Ⅳ		1	30					1	30	
		臨床医学各論Ⅴ		1	15					1	15	
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ		1	30					1	30	
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ							1	30	1	30
リハビリテーション医学Ⅰ				1	30			1	30			
リハビリテーション医学Ⅱ						1	30	1	30			
保健医療福祉と はり、きゆうの概念	医療概論	3	1	15					1	15		
	関係法規						1	15	1	15		
	社会保障制度と職業倫理						1	15	1	15		
小計		27	11	315	13	360	5	120	29	795		
専門分野	基礎あん摩マッサージ指圧学 基礎はり学 基礎きゆう学	あん摩マッサージ指圧理論Ⅰ	9	2	30					2	30	
		はりきゆう理論Ⅰ		2	30					2	30	
		東洋医学概論Ⅰ		2	30					2	30	
		東洋医学概論Ⅱ		2	30					2	30	
		経絡経穴概論Ⅰ		2	30					2	30	
		経絡経穴概論Ⅱ		2	30					2	30	
	臨床あん摩マッサージ指圧学 臨床はり学 臨床きゆう学	あん摩マッサージ指圧理論Ⅱ	15					2	30	2	30	
		はりきゆう理論Ⅱ					2	30	2	30		
		東洋医学概論Ⅲ			2	30				2	30	
		東洋医学概論Ⅳ			2	30				2	30	
		経絡経穴学			2	30				2	30	
		東洋医学臨床Ⅰ			2	30				2	30	
		東洋医学臨床Ⅱ			2	30				2	30	
		東洋医学臨床Ⅲ						2	30	2	30	
		東洋医学臨床Ⅳ						2	30	2	30	
		病態生理学			1	30				1	30	
	あはき適応					1	30	1	30			
	生体観察				1	30			1	30		
	社会あん摩マッサージ指圧学 社会はり学 社会きゆう学	社会あはき学	2						2	30	2	30
	実習	あん摩マッサージ指圧実技Ⅰ	19	4	120					4	120	
		あん摩マッサージ指圧実技Ⅱ				4	120			4	120	
		あん摩マッサージ指圧実技Ⅲ						4	120	4	120	
		はりきゆう実技Ⅰ		4	120					4	120	
		はりきゆう実技Ⅱ				4	120			4	120	
		はりきゆう実技Ⅲ						5	150	5	150	
		臨床実習前施術実技		1	30					1	30	
臨床実習	臨床体験実習	4			1	45			1	45		
	臨床実習						2	90	2	90		
	臨床総合実習						1	45	1	45		
総合領域	治療学Ⅰ ※2	10		2	30					2	30	
	治療学Ⅱ			2	30					2	30	
	治療学Ⅲ						2	30	2	30		
	治療学Ⅳ						2	30	2	30		
	学術研究Ⅰ			2	30					2	30	
	学術研究Ⅱ						2	30	2	30		
総合演習	総合演習Ⅰ	-	2	40					2	40		
	総合演習Ⅱ				1	30			1	30		
	総合演習Ⅲ						4	120	4	120		
小計		59	22	460	29	645	33	795	84	1900		
合計		100	47	1015	42	1005	38	915	127	2935		

※1 コミュニケーションを含む

※2 医学史を含む

学科目と単位(時間数)の基準

※平成29年度以前入学者対象

整 復 科

別表1

	教育内容	授業科目	指定規則 単位数	1学年		2学年		3学年		計	
				単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤	心理学Ⅰ	14	2	30					2	30
		心理学Ⅱ		2	30				2	30	
	社会学Ⅰ	2		30				2	30		
	社会学Ⅱ	2		30				2	30		
	生物学	2		30				2	30		
	生化学	2		30				2	30		
	外国語Ⅰ(英語)	1		30				1	30		
	外国語Ⅱ(英語)	1		30				1	30		
	小計		14	240					14	240	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	13	1	30					1	30
		解剖学Ⅱ		1	30				1	30	
		解剖学Ⅲ		1	30				1	30	
		解剖学Ⅳ		1	30				1	30	
		解剖学Ⅴ				1	30			1	30
		解剖学Ⅵ				1	30			1	30
		解剖学Ⅶ						1	30	1	30
		臨床解剖学				1	30			1	30
		生理学Ⅰ		1	30					1	30
		生理学Ⅱ		1	30					1	30
		生理学Ⅲ				1	30			1	30
		生理学Ⅳ				1	30			1	30
		運動学							1	30	1
	疾病と傷害	病理学概論Ⅰ	12			1	30			1	30
		病理学概論Ⅱ				1	30			1	30
		一般臨床医学Ⅰ		1	30					1	30
		一般臨床医学Ⅱ				1	30			1	30
		一般臨床医学Ⅲ				1	30			1	30
		外科学概論						2	30	2	30
		整形外科						2	30	2	30
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ		1	30					1	30
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ		1	30					1	30
	リハビリテーション医学					2	30	2	30		
	保健医療福祉と 柔道整復の理念	関係法規	7					1	30	1	30
		医学史		1	30				1	30	
		柔道Ⅰ		1	30				1	30	
		柔道Ⅱ		1	30				1	30	
		柔道Ⅲ				1	30			1	30
		柔道Ⅳ				1	30			1	30
	柔道Ⅴ					1	30	1	30		
		小計	32	12	360	11	330	10	210	33	900
	専門分野	基礎柔道整復学	柔整学概論Ⅰ	9	2	34					2
柔整学概論Ⅱ			2		32					2	32
骨折総論			2		34					2	34
柔整学演習			2		32					2	32
捻挫学Ⅰ						2	34			2	34
捻挫学Ⅱ						2	34			2	34
物理療法						2	34	2	34		
臨床柔道整復学		上肢骨折Ⅰ	14			2	34			2	34
		上肢骨折Ⅱ				2	34			2	34
		下肢骨折Ⅰ				2	34			2	34
		下肢骨折Ⅱ				2	34			2	34
		上肢疾患				2	34			2	34
		下肢疾患				2	34			2	34
		脱臼学Ⅰ				2	34			2	34
脱臼学Ⅱ				2	34			2	34		
柔道整復実技		柔整倫理	16	1	34					1	34
		包帯Ⅰ		1	34				1	34	
		包帯Ⅱ				1	34			1	34
		スポーツ柔整Ⅰ				1	32			1	32
		スポーツ柔整Ⅱ				1	32			1	32
		整復実技Ⅰ				1	32			1	32
		整復実技Ⅱ						1	30	1	30
		整復実技Ⅲ						1	30	1	30
		整復実技および柔整学						1	34	1	34
		包帯固定学						1	34	1	34
		画像診断						1	34	1	34
		総合柔道および柔整学						1	34	1	34
		総合整復学実技						10	318	10	318
臨床実習						1	45	1	45		
		小計	39	10	200	24	470	19	593	53	1263
	合計	85	36	800	35	800	29	803	100	2403	

学科目と単位(時間数)の基準

※平成30年度以降入学者対象

整復科

別表1

	教育内容	授業科目	指定規則 単位数	学期:単位(時間)				
				1学年	2学年	3学年	計	
基礎分野	科学的思考の基盤	心理学Ⅰ	14	2(30)			2(30)	
		心理学Ⅱ		2(30)			2(30)	
		社会学Ⅰ		2(30)			2(30)	
		社会学Ⅱ		2(30)			2(30)	
	人間と生活	生物学		2(30)				2(30)
		生化学		2(30)				2(30)
		外国語(英語)Ⅰ		1(30)				1(30)
		外国語(英語)Ⅱ		1(30)				1(30)
小計			14	14(240)			14(240)	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	15	1(30)			1(30)	
		解剖学Ⅱ		1(30)			1(30)	
		解剖学Ⅲ		1(30)			1(30)	
		解剖学Ⅳ		1(30)			1(30)	
		解剖学Ⅴ			1(30)			1(30)
		解剖学Ⅵ			1(30)			1(30)
		解剖学Ⅶ				2(30)		2(30)
		生理学Ⅰ		1(30)				1(30)
		生理学Ⅱ		1(30)				1(30)
		生理学Ⅲ			1(30)			1(30)
		生理学Ⅳ			1(30)			1(30)
		生理学Ⅴ				2(30)		2(30)
		運動学				1(30)		1(30)
		疾病と傷害		病理学概論Ⅰ	11		1(30)	
	病理学概論Ⅱ		1(30)			1(30)		
	一般臨床医学Ⅰ		1(30)				1(30)	
	一般臨床医学Ⅱ		1(30)				1(30)	
	外科学概論					2(30)		2(30)
	整形外科学					2(30)		2(30)
	衛生学・公衆衛生学Ⅰ		1(30)					1(30)
	衛生学・公衆衛生学Ⅱ		1(30)					1(30)
	リハビリテーション医学				2(30)	2(30)		
	柔道整復術の適応	柔道整復術の適応と医接連携関係法規	2		2(30)		2(30)	
	保健医療福祉と柔道整復の理念	関係法規	8			2(30)	2(30)	
		医学史		1(30)			1(30)	
		柔道Ⅰ		1(30)			1(30)	
		柔道Ⅱ		1(30)			1(30)	
柔道Ⅲ				1(30)		1(30)		
柔道Ⅳ				1(30)		1(30)		
社会保障制度	柔整倫理と社会保障制度	1	1(30)			1(30)		
小計			37	12(360)	12(330)	14(240)	38(930)	
専門分野	基礎柔道整復学	柔整学概論Ⅰ	10	1(30)			1(30)	
		柔整学概論Ⅱ		1(30)			1(30)	
		骨折総論		1(30)			1(30)	
		柔整学演習		1(30)			1(30)	
		軟部損傷総論			1(30)		1(30)	
		軟部損傷各論			1(30)		1(30)	
		触察法		1(30)			1(30)	
		手技療法概論		1(30)			1(30)	
		保存療法と物理療法				2(30)		2(30)
		臨床柔道整復学		骨折理論Ⅰ	17		2(60)	
	骨折理論Ⅱ		2(60)			2(60)		
	骨折実技Ⅰ		2(60)			2(60)		
	骨折実技Ⅱ		2(60)			2(60)		
	上肢疾患		2(30)				2(30)	
	下肢疾患			2(30)			2(30)	
	脱臼理論		2(30)				2(30)	
	脱臼実技		2(30)				2(30)	
	柔整トレーナー理論		1(30)				1(30)	
	実践トレーナー実技		1(30)				1(30)	
	手技療法各論		1(30)				1(30)	
	臨床判定理論					2(30)		2(30)
	柔道整復実技	包帯学Ⅰ	17	1(30)			1(30)	
		包帯学Ⅱ			1(30)		1(30)	
		スポーツ外傷Ⅰ		1(30)			1(30)	
		スポーツ外傷Ⅱ			1(30)		1(30)	
		整復実技Ⅰ		1(30)			1(30)	
		整復実技Ⅱ				1(30)	1(30)	
		整復実技Ⅲ				1(30)	1(30)	
		整復実技および柔整学				1(30)	1(30)	
		整復固定実技				1(30)	1(30)	
		機能訓練指導演習			1(30)		1(30)	
		柔整テクニックマスター		1(30)			1(30)	
		外傷予防学				1(30)	1(30)	
総合柔道および柔整学					1(30)	1(30)		
総合柔整学					10(300)		10(300)	
臨床実習	臨床実習	4	1(45)	1(45)	2(90)	4(180)		
小計			48	12(345)	24(645)	22(630)	58(1620)	
合計			99	38(945)	36(975)	36(870)	110(2790)	

別 表 2

卒 業 要 件
放 射 線 科

分 野		単 位 数
基 礎	科学的思考の基盤	2 0
	人間と生活	
専 門 基 礎	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	1 3
	保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学及び技術	2 1
専 門	診療画像技術学	1 7
	核医学検査技術学	6
	放射線治療技術学	6
	医用画像情報学	6
	放射線安全管理学	5
	医療安全管理学	1
	臨床実習	1 0
	総合演習	6
合 計		1 1 1

卒 業 要 件
臨 床 検 査 科

分 野		単 位 数
基 礎	科学的思考の基盤	17
	人間と生活	
専 門 基 礎	人体の構造と機能	8
	医学検査の基礎とその疾患との関連	5
	保健医療福祉と医学検査	4
	医用工学及び情報科学	4
専 門	臨床病態学	6
	形態検査学	10
	生物化学分析検査学	11
	病因・生体防御検査学	10
	生理機能検査学	9
	検査総合管理学	7
	医療安全管理学	1
	臨地実習	10
	臨床検査特論	6
合 計		108

卒業要件

鍼灸科

※平成 29 年度以前入学者対象

分 野		単位数
基礎分野	科学的思考の基盤	14
	人間と生活	
専門基礎分野	人体の構造と機能	13
	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進	13
	保健医療福祉とはり、きゅうの概念	2
専門分野	基礎あん摩マッサージ指圧学 基礎はり学 基礎きゅう学	10
	臨床あん摩マッサージ指圧学 臨床はり学 臨床きゅう学	16
	あん摩マッサージ指圧社会学 はり社会学 きゅう社会学	2
	実習（臨床実習及び臨地実習を含む）	25
	総合領域	10
	総合演習	6
	合 計	111

※平成 30 年度以降入学者対象

分 野		単位数
基礎分野	科学的思考の基盤	14
	人間と生活	
専門基礎分野	人体の構造と機能	12
	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進	14
	保健医療福祉とはり、きゅうの概念	3
専門分野	基礎あん摩マッサージ指圧学 基礎はり学 基礎きゅう学	12
	臨床あん摩マッサージ指圧学 臨床はり学 臨床きゅう学	21
	あん摩マッサージ指圧社会学 はり社会学	2

	きゅう社会学	
	実習	26
	臨床実習	4
	総合領域	12
	総合演習	7
	合 計	127

卒 業 要 件

整 復 科

※平成 30 年度以降入学者対象

分 野	単 位 数
基 礎 分 野	科学的思考の基盤 人間と生活 14
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 15 疾病と障害 12 柔道整復術の適応 2 保健医療福祉と柔道整復の理念 8 社会保険制度 1
専 門 分 野	基礎柔道整復学 10 臨床柔道整復学 21 柔道整復実技 23 臨床実習 4
	合 計 110

別 表 3

1. 学則第27条による入学検定料、入学金、授業料、実験実習料及び施設整備費は次のとおりに定める。

科別	入学検定料	入 学 金	授 業 料	実験実習料	施設整備費
放射線科	25,000円	(入学時のみ) 300,000円	(年 額) 600,000円	(年 額) 390,000円	(年額) 90,000円
臨床検査科	25,000円	(入学時のみ) 300,000円	(年 額) 600,000円	(年 額) 300,000円	(年額) 90,000円
鍼灸科	10,000円	(入学時のみ) 200,000円	(年 額) 930,000円	(年 額) 330,000円	(年額) 90,000円
整復科	10,000円	(入学時のみ) 200,000円	(年 額) 900,000円	(年 額) 330,000円	—

2. 授業料、実験実習料及び施設整備費は次のとおり分納する。

第1期(4~7月分)	4月10日までに納入
第2期(8~11月分)	8月10日までに納入
第3期(12~3月分)	12月10日までに納入

3. 休学中の場合でも、授業料の半額は納入しなければならない。

4. 入学金、授業料、実験実習料、施設整備費、入学検定料の他に、次の費用が必要である。但し、金額は変動する場合がある。

なお、1~4に記載の費用以外は徴収しない。

学科名	費用
放射線科	教科書代、白衣代等、3年間で約25万円。
臨床検査科	教科書代、白衣代等、3年間で約30万円。
鍼灸科	教科書代、白衣代等、実習道具費等、3年間で約40万円。
整復科	教科書代、白衣代等、柔道衣等、3年間で約30万円。